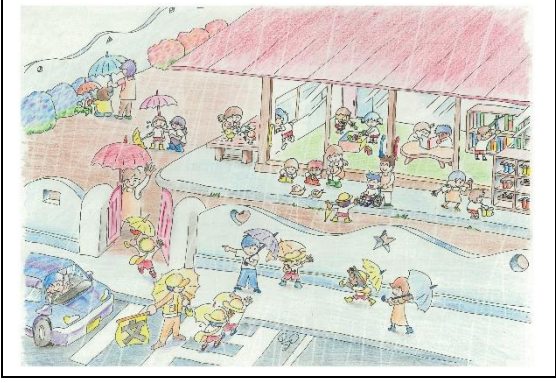


No. ②	分類	2 - (1)	2 - (2)	資料名	みんな たいせつ	関連領域	「人間関係」 「環境」
資料について					<p>生活の中の一場面です。挿絵を見ながら自分の生活と重ね合わせ、友だち、保育者、保護者や地域の方、生き物などいろいろな関わりや考えがあることを知り、周りの存在の大切さに気付けるための話合いに活用できます。</p>		
ねらい	<p>○自分と違う人や物の存在に気付き、自他を大切にすることを覚えるようになる。</p>						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と違う人がいることや、自分と違う思いがあることを知り、相手を思いやる心をもつ。 ・自分の周りの人々や、生き物などに、興味や関心をもつ。 						
指導の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の命は大勢の人に守られていることを知らせ、命の大切さや周りの人の存在に気付くようにする。 ・身近な環境の中で、自然や生き物に興味や関心を持ち、命を大切にすることを覚える。 ・周りの存在を知り、いろいろな思いや考えがあることに気付くようにする。 						
展 開 例	活動内容				環境の構成・保育者の援助		
	<p>①挿絵を見て、気付いたことを発表していく。</p> <div data-bbox="306 1310 1348 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>こんな様子、園・所でもよく見るね。どんな人や物が見えるかな。</p> </div> <div data-bbox="226 1406 805 1854" style="border: 1px dashed black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨だけど、外に出て花見てる。傘さしてくれている。 ・かたつむりと遊んでる。 ・鳥が遊びにきている。 ・本読んだり、積み木で遊んだりしてる。 ・泣いてる子がいる。 </div> <p>②最近あったことを話し合う。</p>	<div data-bbox="837 1438 1449 1550" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□ みんなで共通理解できるように、一つずつ取り上げていき、話しやすい雰囲気にしていく。</p> </div>					
<p>みんなは、いつも園・所でどうしていますか。 楽しいことは何ですか。</p>							

	活動内容	環境の構成・保育者の援助
展 開	<p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積木で遊んでいる。虫とりも好き。 ・外で遊んでいる。雨降ってたら遊べない。 ・おもちゃで遊んでいる。いろいろなおもちゃで遊ぶのが楽しい。虫は嫌い。 ・〇〇さんと遊んでいる。おままごととして遊ぶのが楽しい。 <p>③友だちの話を聞いて、感じたことや、他に気付いたことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 日常の中の場面が、みんなの頭の中に思い描けるように、話に出たことで、実際にあったできごとを添える。 □ 周りの人の存在や、相手を思うことに気付けるように、個々の思いを受け止め、一人ひとり、それぞれの思いがあることや、感じるものが違うことを知らせる。 □ 友だちのことや、周りの環境にも興味をもてるように、園・所の様子を具体例に出し、共通理解をして話を進めていく。
例	<p>友だちの話を聞いて思ったことはあるかな。 他に気付いたことはあるかな。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さん、かたつむりのお世話していたと思った。優しいなと思った。 ・園・所の所にも、道の所に旗の人が立ってるなと思った。今日、あいさつしたよ。 ・おもちゃ出しても、片付けしている。〇〇さんも〇〇さんも一緒にしてるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自分のことだけでなく、周りのことにも気付けたことの大切さや、友だちに受け止めてもらえた喜びが感じられるように、一緒に喜んだり伝えたりして、みんなで共感して話を進めていく。 □ 自他を大切にすることや、生き物、植物にも命があることに気付き、興味や関心をもてるように、気付いたことを発表し合ったり質問を投げかけたりして、話をしていく。 □ 自分たちを守ってくれている存在を知り、周りの存在の大切さや、優しい気持ちを育ていけるように、思いや考えを聞いたり一緒に考えたりして、共通理解する。
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の中にある場面と重ね合わせながら、自分の周りの人や物の存在に気付けるように、話合いを進めていく。 ・場面によってピックアップしてもよいし、全体を使い、多くの場面での話合いにしてもよい。 ・それぞれの思いや、感じたことについて話し合いをしていく中で、一人ひとりに違う思いがあることを知り、友だち、保育者、保護者、地域の方など、存在の大切さに気付くようにする。 	